

集中豪雨や台風への備え

集中豪雨

集中豪雨は、短時間のうちに狭い地域に集中して降る豪雨のことです。梅雨の終わりのころによく起こります。狭い地域に限られ突発的に降るため、その予測は比較的困難。中小河川の氾濫や土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害が予測されます。がけ付近や造成地などは気象情報に十分注意し万全の対策をとるようにしましょう。

〈1時間の雨量と降り方〉

1時間の雨量	雨の降り方
10～20ミリ	ザーザーと降り、雨音で話し声がよく聞こえない。
20～30ミリ	どしゃ降り、側溝や下水、小さな川があふれる。
30～50ミリ	バケツをひっくり返したように降り、道路は川ようになる。
50～80ミリ	滝のように降り、土石流が起こりやすい。車の運転は危険。
80ミリ以上	雨による大規模な災害発生の危険あり、厳重な警戒が必要。

台風

日本列島には毎年多数の台風が接近または上陸し、強風と大雨によりたびたび大きな被害にあっています。台風情報に注意して被害が出ないように備えましょう。

台風の大きさは「風速15m/s（メートル/毎秒）以上の半径」、強さは「最大風速」で表されます。

〈風と被害〉

風速10～15m/s	かさがさせない
風速15～20m/s	風に向かって歩けない
風速20～25m/s	しっかり身体を確保しないと転ぶ
風速25～30m/s	立ってられない。ブロック塀が壊れる
風速30m/s～	屋根が飛ばされたり、木造住宅が壊れる

（気象庁による）

〈台風の大きさと階級分け〉

階級	風速15m/s以上の半径
大型（大きい）	500km以上 800km未満
超大型（非常に大きい）	800km以上

（気象庁による）

〈台風の強さと階級分け〉

階級	最大風速
強い	33m/s以上～ 44m/s未満
非常に強い	44m/s以上～ 54m/s未満
猛烈な	54m/s以上～

（気象庁による）

災害に備えて 家族みんなが 防災会議

① 家族1人ひとりの役割分担

日常の予防対策上の役割と災害時の役割の両方について決める。寝たきりの高齢者、病人、小さい子どもがいる場合は、だれが保護を担当するかなども話し合う。

② 家屋の危険箇所チェック

家の内外をチェックして危険箇所を確認し合う。放置できない危険箇所については、修理や補強の方法についても話し合う。

③ 家具の安全な配置と 転倒防止対策

家具の配置換えによって家の中に安全なスペースをつくれないう工夫する。また、家具の転倒や落下を防ぐ方法を考え、そのため新製品などがあれば教え合う。

④ 非常持出品のチェックと 入れ替え・補充

家族構成を考えながら必要な品がそろっているかをチェックする。定期的に新しいものと取り替える必要があるもの（使用期限のある非常食、水、乾電池など）は、だれが担当するかなども話し合う。

⑤ 災害時の連絡方法や避難場所・ 避難経路の確認

家族が離ればなれになった時の避難場所を確認する。避難コースの危険箇所についても話し合い、できれば休日などを利用して、散歩を兼ねてみんなで下見をしておく。

安否確認などの連絡に NTT災害用伝言 ダイヤル

171

ご利用にあたっての事前契約等は一切不要です。

家族間や知人間などの連絡に活用できます。

伝言の
録音方法

171 → 1 →

ガイダンスが流れます

市外局番からダイヤルしてください。

(000) 000 - 0000

被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を

伝言の
再生方法

171 → 2 →

ガイダンスが流れます

市外局番からダイヤルしてください。

(000) 000 - 0000

被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を

小郡市では「防災メール・まもるくん」の登録を推奨しています



◎登録方法 mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp
に空メールを送信し、その返信メールの内容に従って登録してください。
こちらのアドレスやQRコードからも登録できます。
<http://www.bousai.pref.fukuoka.jp>



「防災メール・まもるくん」とは

- ・小郡市における地震・台風・大雨等の防災気象情報や避難勧告の情報
 - ・災害時の安否情報
 - ・小郡市近郊の犯罪などの地域の安全に関する情報
- などの情報がメールにより登録された人の携帯電話に配信されます。

※小郡市における7月末現在の登録者は1,233人です。

水害から身を守るために

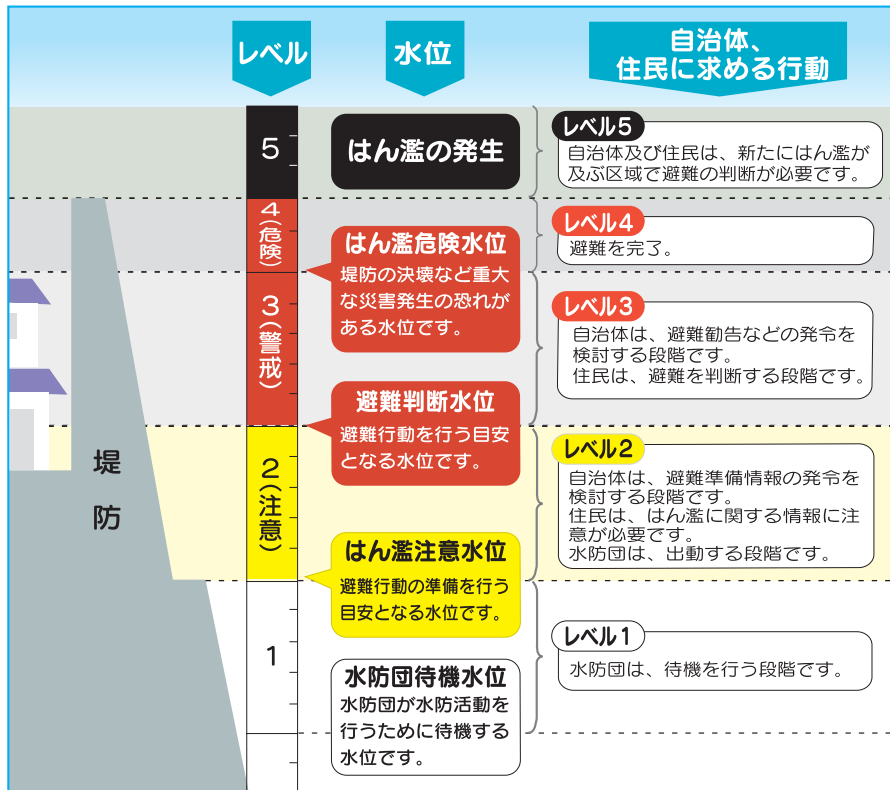
近年の洪水の多くは、集中豪雨や記録的な大雨により、これまでにない深刻な被害が多数発生し、その被害も年々大規模なものとなっています。

私たちの住む街もいつ大規模な水害に見舞われるかわかりません。このような事態から自らの命・家族・財産を守るため、刻々と発表される防災情報を正しく理解し、迅速な避難行動に結びつけ、危険から身を守るための基礎知識として活用してください。

知って
おこう!

水位に応じた危険度レベル

川には、水位の高さに応じた危険度のレベルがあります。



小郡市(宝満川)の水位

宝満川は端間橋を境として、下流域を国、上流域を県が管理しています。これまで、端間橋下流にある国の水位観測所より危険度を判断していましたが、今年度からは県管轄区域の筑紫野市下見にも水位観測所が設置されました。このことで、さらに詳細な危険度の判断が可能となります。

観測所	端間	筑紫野市 下見
水防団待機	2.4m	2.3m
はん濫注意	3.6m	3.0m
避難判断	4.0m	3.3m
はん濫危険	4.65m	3.7m

色による分類 ○ ● ● ● ●

レベル1	無着色
レベル2	黄色
レベル3および4	赤色
レベル5	黒色

災害から身を守るために、日頃からの準備を！

土砂災害に備えて

土砂災害に備えて 近年、集中豪雨による土砂災害が多発し、その被害により尊い人命が失われています。そのような土砂災害から住民の生命を守るために、土砂災害が発生するおそれがある区域を明らかにして、警戒避難体制を整備し、特定の開発行為等を制限する法律が土砂災害防止法です。

小郡市は、筑後平野の北部域に位置し地形も概ね平坦で土砂災害の危険はないと思われがちですが、平成13年に福岡県が調査を行い、三沢刈又地区周辺に16箇所(がけ崩れ)の土砂災害危険箇所が存在することが公表されています。

今後、土砂災害防止法に基づき、危険箇所の現地調査が本年９月以降実施されていきます。その調査結果に基づき、福岡県・小郡市合同の地元説明会などを開催していきます。関係者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

土砂災害防止法および土砂災害危険箇所については、福岡県砂防課のホームページでご覧になれます。

(<http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp/>)

◎問い合わせ先 福岡県久留米県土整備事務所 河川砂防課 ☎ 44-5229

洪水ハザードマップ

万が一の洪水時に、地域の住民の人々が安全に避難できる事を主な目的として、想定浸水深、避難所の位置および一覧、緊急連絡先、避難時の心得等が記載されています。

小郡市では、平成18年9月に宝満川端間橋(国管轄区間)下流域の洪水ハザードマップを作成し公表(全世帯配布)しましたが、平成23年度を目途に小郡市全域の洪水ハザードマップの公表を予定しています。

ハザードマップについては市役所へ問い合わせください。

◎問い合わせ先 総務課協働推進係 ☎72-2111内線243・244

